

判定区分 2019年度版

2018年4月1日改定

項目		A異常なし	B軽度異常	C要経過観察 (生活改善・再検査)	D要医療 D1要治療・D2要精検 *1	E 治療中 *7
体格指数 (BMI)	kg/m <sup>2</sup>	18.5-24.9		18.4以下, 25.0以上		
腹 囲 cm	男性	84.9以下		85.0以上		
	女性	89.9以下		90.0以上		
血 圧 mmHg (2回測定:平均値)	収縮期	129以下	130-139	140-159	160以上	
	拡張期	84以下	85-89	90-99	100以上	
心拍数 (仰臥位)	回/分	45-85		40-44, 86-100	39以下, 101以上	
視力 (裸眼, 矯正両方の場合は矯正で判定) (悪い側で判定)		1.0以上		0.7-0.9	0.6以下	
聴力 dB	1000Hz	30以下		35	40以上	
	4000Hz	30以下		35	40以上	
呼吸機能 (スパイロメトリー) 小数点1ケタ表記に変更 *2	1秒率 (%)	70.0以上			69.9以下	
	%1秒量 (予測1秒量に対する%)	80.0以上 (1秒率70.0%以上)		79.9以下 (1秒率70.0%以上) または 80.0以上 (1秒率69.9%以下)	79.9以下 (1秒率69.9%以下)	
	%肺活量 (%)	80.0以上			79.9以下	
総たんぱく	g/dL	6.5-7.9	8.0-8.3	6.2-6.4	6.1以下, 8.4以上	
アルブミン	g/dL	3.9以上		3.7-3.8	3.6以下	
クレアチニン mg/dL (eGFRを優先して判定) (小数点2ケタ表記に変更)	男性	1.00以下	1.01-1.09	1.10-1.29	1.30以上	
	女性	0.70以下	0.71-0.79	0.80-0.99	1.00以上	
eGFR (mL/分/1.73m <sup>2</sup> による) (小数点1ケタ表記に変更)		60.0以上		45.0-59.9	44.9以下	
尿酸	mg/dL	2.1-7.0	7.1-7.9	2.0以下, 8.0-8.9	9.0以上	
HDLコレステロール	mg/dL	40以上		35-39	34以下	
Non-HDLコレステロール	mg/dL	90-149	150-169	170-209	89以下, 210以上	
LDLコレステロール	mg/dL	60-119	120-139	140-179	59以下, 180以上	
中性脂肪	mg/dL *3	30-149	150-299	300-499	29以下, 500以上	
AST (GOT)	U/L	30以下	31-35	36-50	51以上	
ALT (GPT)	U/L	30以下	31-40	41-50	51以上	
γ-GT (γ-GTP)	U/L	50以下	51-80	81-100	101以上	
FPG (血漿) 空腹時血糖	mg/dL	FPG:99以下 かつ HbA1c:5.5以下	1) FPG:100-109かつHbA1c:5.9以下 2) FPG:99以下かつHbA1c:5.6-5.9 1), 2) のいずれかのもの	1) FPG:110-125 2) HbA1c:6.0-6.4 3) FPG:126以上かつHbA1c:6.4以下 4) FPG:125以下かつHbA1c:6.5以上 1) ~4) のいずれかのもの	FPG:126以上 かつ HbA1c:6.5以上	
HbA1c (NGSP)	% *4					
白血球数	10 <sup>3</sup> /μL	3.1-8.4	8.5-8.9	9.0-9.9	3.0以下, 10.0以上	
血色素量 g/dL	男性	13.1-16.3	16.4-18.0	12.1-13.0	12.0以下, 18.1以上	
	女性	12.1-14.5	14.6-16.0	11.1-12.0	11.0以下, 16.1以上	
血小板数	10 <sup>4</sup> /μL	14.5-32.9	12.3-14.4, 33.0-39.9	10.0-12.2	9.9以下, 40.0以上	
CRP (小数点2ケタ表記に変更)	mg/dL	0.30以下	0.31-0.99		1.00以上	
梅毒反応		陰性			陽性	
HBs抗原		陰性			陽性	
HCV抗体		陰性			陽性	

項目		A異常なし	B軽度異常	C要経過観察 (生活改善・再検査)	D要医療 D1要治療・D2要精検 *1	E 治療中 *7
尿蛋白		(-)	(±)	(+) *5	(2+) 以上	
尿潜血		(-)	(±)	(+) *5	(2+) 以上	
尿糖		(-)	(±) 以上			
便潜血 2日法	1日目・2日目	(-)			いずれか (+)	
子宮頸部細胞診	ベセスダ分類	NILM		不適正標本=判定不能(すみやかに再検査)・ASC-US *6	ASC-H, LSIL, HSIL, SCC, AGC, AIS, Adenocarcinoma, Other malig	

\*1 値の高低、所見によつてのD1要治療、D2要精検のいずれを採用するかは任意とする

\*2 呼吸機能検査は検者、被験者の良好の関係が数値を微妙に変えるので注意する

また、1秒率、%1秒量の組み合わせで閉塞性障害の重症度を判定する

1秒率が70%未満かつ%1秒量80%以上が軽症、79%以下が中等症以上と判定する

1秒率、%肺活量の組み合わせで閉塞性、拘束性、混合性換気障害と判定する

\*3 血糖・脂質に影響を与えるために空腹時採血を前提としている

\*4 空腹時血糖、HbA1c(NGSP)併合判定C区分の1)2)と判定した場合はOGTTを推奨する

3)4)と判定した場合は、生活改善指導等を実施後その結果を短期間で再評価することが望ましい

\*5 尿蛋白が(+)かつ尿潜血が(+)である場合は、尿蛋白をD判定とする。

\*6 採取器具は綿棒ではなくブラシ、へら、サイトピック等を使用し、可能であれば液状化検体法(LBC)にて検体を保存する

不適性標本はすみやかに再検査、ASC-USはHPV-DNA検査あるいは6か月後再検査とする

\*7 治療中の場合はE判定とする

\*\* 眼圧の基準範囲は9~20mmHgであるが、緑内障の7割がこの範囲内にあるので、判定区分を設定していない

\*\* 総ビリルビンについては中等度までは、上昇に比例して死亡率の減少、動脈硬化予防となるので判定区分を設定していない

\*\* ALPIについては、年齢、性、血液型、測定法等によって基準範囲が大きく異なる為、判定区分を設定していない

項目	検査方法
総たんぱく	Biuret法
アルブミン*	BCG法、BCP改良法
総コレステロール	酵素法
LDLコレステロール	直接法(非沈殿法:可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
HDLコレステロール	直接法(非沈殿法:可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
中性脂肪	酵素比色法、グリセロール消去(可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
クレアチニン	酵素法
尿酸	ウリカーゼPOD法
AST(GOT)	JSCC標準化対応法
ALT(GPT)	JSCC標準化対応法
γ-GT(γ-GTP)	JSCC標準化対応法
空腹時血糖	酵素法、電極法
HbA1c	ラテックス凝集比濁法、HPLC法、酵素法
梅毒反応	梅毒脂質抗原使用法
CRP	ラテックス凝集免疫比濁法、免疫比濁法、免疫比濁法

\*アルブミンのBCG法とBCP改良法の差異は下記を参照

<http://www.jslm.org/others/news/20131225albumin.pdf>

\*\*胸部X線、上部消化管エックス線、上部消化管内視鏡、腹部超音波、心電図、眼底の画像健診判定マニュアルについては、日本人間ドック学会ホームページを参照